

平成 26 年 商 業 統 計 調 査 結 果

概 況

平成 26 年商業統計調査結果にみる本市の商業は、平成 26 年 7 月 1 日現在で事業所数 8,596 事業所、従業者数 63,304 人、年間商品販売額 2 兆 4,129 億円となっている。

卸売・小売業別の構成を見ると、事業所数は卸売業 24.2%、小売業 75.8%、従業者数は卸売業 27.1%、小売業 72.9%、年間商品販売額は卸売業 62.2%、小売業 37.8%となっている。

なお、平成 26 年調査は、日本標準産業分類の第 12 回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回調査の平成 19 年調査の数値とは接続しないため、比較は行っていない。

第 1 - 1 表 事業所数、従業者数及び年間商品販売額 (単位：金額万円、面積㎡)

		実数	構成比
事業所数	合計	8,596	100.0%
	卸売業	2,082	24.2%
	小売業	6,514	75.8%
従業者数	合計	63,304	100.0%
	卸売業	17,146	27.1%
	小売業	46,158	72.9%
年間商品販売額	合計	241,295,627	100.0%
	卸売業	149,988,562	62.2%
	小売業	91,307,065	37.8%
売場面積	小売業	1,130,641	—

1 事業所数

平成 26 年 7 月 1 日現在で、北九州市の卸売業及び小売業の事業所数は 8,596 事業所である。

(1) 産業分類別事業所数

事業所数を産業中分類別にみると、卸売業では「機械器具卸売業」が 610 事業所で最も多く、卸売業の 29.3%を占めている。次いで、「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」563 事業所(構成比 27.0%)、「その他の卸売業」456 事業所(同 21.9%)と続いている。

小売業では、「その他の小売業」が 2,336 事業所で最も多く、小売業の 35.9%を占めている。次いで、「飲食料品小売業」2,293 事業所(構成比 35.2%)、「織物・衣服・身の回り品小売業」883 事業所(同 13.6%)と続き、これらの 3 業種で小売業の 84.6%を占めている。

第1-2表 産業分類別事業所数

産業分類		事業所数	構成比
合 計		8,596	
卸 売 業		2,082	100.0%
50	各 種 商 品 卸 売 業	12	0.6%
51	織 維 ・ 衣 服 等 卸 売 業	51	2.4%
52	飲 食 料 品 卸 売 業	390	18.7%
53	建 築 材 料、 鉱 物 ・ 金 属 材 料 等 卸 売 業	563	27.0%
54	機 械 器 具 卸 売 業	610	29.3%
55	そ の 他 の 卸 売 業	456	21.9%
小 売 業		6,514	100.0%
56	各 種 商 品 小 売 業	25	0.4%
57	織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	883	13.6%
58	飲 食 料 品 小 売 業	2,293	35.2%
59	機 械 器 具 小 売 業	709	10.9%
60	そ の 他 の 小 売 業	2,336	35.9%
61	無 店 舗 小 売 業	268	4.1%

(2) 従業者規模別事業所数

事業所数を従業者規模別にみると、卸売業では5～9人規模が609事業所と最も多く、卸売業の29.3%を占めている。次いで、2人以下規模が490事業所(構成比23.5%)、3～4人規模が483事業所(同23.2%)と続いている。

小売業についてみると、2人以下規模の事業所が2,667事業所と最も多く、小売業の40.9%を占めている。次いで、3～4人規模が1,485事業所(構成比22.8%)、5～9人規模が1,215事業所(同18.7%)と続いている。

第1-3表 従業者規模別事業所数

区 分 , 従 業 者 規 模 別	合計		卸売業		小売業	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
合計	8,596	100.0%	2,082	100.0%	6,514	100.0%
2人以下	3,157	36.7%	490	23.5%	2,667	40.9%
3 ～ 4人	1,968	22.9%	483	23.2%	1,485	22.8%
5 ～ 9	1,824	21.2%	609	29.3%	1,215	18.7%
10 ～ 19	1,009	11.7%	323	15.5%	686	10.5%
20 ～ 29	331	3.9%	96	4.6%	235	3.6%
30 ～ 49	190	2.2%	57	2.7%	133	2.0%
50 ～ 99	87	1.0%	20	1.0%	67	1.0%
100人以上	30	0.3%	4	0.2%	26	0.4%

2 従業者数

平成26年7月1日現在の従業者数は63,304人であり、このうち卸売業は17,146人、小売業は46,158人となっている。

(1) 業種別従業者数

従業者数を産業中分類別にみると、卸売業では「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が4,333人で最も多く、卸売業の25.3%を占めている。次いで、「機械器具卸売業」4,257人(構成比24.8%)、「飲食料品卸売業」4,004人(同23.4%)、「その他の卸売業」3,988人(同23.3%)と続き、これら4業種で卸売業の96.7%を占めている。

小売業では、「飲食料品小売業」が17,142人と最も多く、小売業の37.1%を占めている。次いで、「その他の小売業」14,048人(構成比30.4%)と続き、これら2業種で小売業の67.6%を占めている。

第2-1表 卸売業、小売業従業者数の業種別構成比

産業分類	従業者数	構成比
合計	63,304	
卸売業	17,146	100.0%
50 各種商品卸売業	83	0.5%
51 繊維・衣服等卸売業	481	2.8%
52 飲食料品卸売業	4,004	23.4%
53 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	4,333	25.3%
54 機械器具卸売業	4,257	24.8%
55 その他の卸売業	3,988	23.3%
小売業	46,158	100.0%
56 各種商品小売業	3,545	7.7%
57 織物・衣服・身の回り品小売業	3,798	8.2%
58 飲食料品小売業	17,142	37.1%
59 機械器具小売業	5,441	11.8%
60 その他の小売業	14,048	30.4%
61 無店舗小売業	2,184	4.7%

(2) 従業者規模別従業者数

従業者数を従業者規模別にみると、卸売業では10～19人規模が4,308人と最も多く、卸売業の25.1%を占めており、次いで、5～9人規模が4,016人(構成比23.4%)と続いている。

小売業では、10～19人規模が9,361人と最も多く、小売業の20.3%を占めている。次いで、5～9人規模が7,784人(構成比16.9%)、20～29人規模が5,551人(同12.0%)と続いている。

第2-2表 従業者規模別従業者数

区 分 , 従業者規模別	合計		卸売業		小売業	
	従業者数	構成比	従業者数	構成比	従業者数	構成比
合計	63,304	100.0%	17,146	100.0%	46,158	100.0%
2人以下	5,025	7.9%	792	4.6%	4,233	9.2%
3～4人	6,707	10.6%	1,664	9.7%	5,043	10.9%
5～9	11,800	18.6%	4,016	23.4%	7,784	16.9%
10～19	13,669	21.6%	4,308	25.1%	9,361	20.3%
20～29	7,767	12.3%	2,216	12.9%	5,551	12.0%
30～49	7,138	11.3%	2,185	12.7%	4,953	10.7%
50～99	5,944	9.4%	1,387	8.1%	4,557	9.9%
100人以上	5,254	8.3%	578	3.4%	4,676	10.1%

3 年間商品販売額

平成25年1月1日から平成25年12月31日までの年間商品販売額は、2兆4,129億円となっており、このうち卸売業は1兆4,998億円、小売業は9,130億円となっている。

(1) 産業分類別年間商品販売額

年間商品販売額を産業中分類別にみると、卸売業では「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が5,669億円で最も多く、卸売業の37.8%を占めている。次いで、「飲食料品卸売業」3,268億円(構成比21.8%)、「機械器具卸売業」3,033億円(同20.2%)、「その他の卸売業」2,776億円(同18.5%)と続き、これら4業種で卸売業の98.3%を占めている。

小売業では、「その他の小売業」が2,738億円と最も多く、小売業の30.0%を占めている。次いで、「飲食料品小売業」2,425億円(構成比26.6%)、「機械器具小売業」1,703億円(同18.7%)と続いている。

第3-1表 産業分類別年間商品販売額

(単位：万円)

産業分類	年間商品販売額	構成比
合計	241,295,627	
卸売業	149,988,562	100.0%
50 各種商品卸売業	736,333	0.5%
51 繊維・衣服等卸売業	1,766,865	1.2%
52 飲食料品卸売業	32,687,114	21.8%
53 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	56,698,763	37.8%
54 機械器具卸売業	30,337,255	20.2%
55 その他の卸売業	27,762,232	18.5%
小売業	91,307,065	100.0%
56 各種商品小売業	11,501,695	12.6%
57 織物・衣服・身の回り品小売業	6,405,448	7.0%
58 飲食料品小売業	24,254,887	26.6%
59 機械器具小売業	17,030,181	18.7%
60 その他の小売業	27,386,572	30.0%
61 無店舗小売業	4,728,282	5.2%

(2) 従業者規模別年間商品販売額

従業者規模別に年間商品販売額をみると、卸売業では10～19人規模が4,235億円と最も多く、卸売業の28.2%を占めている。次いで、5～9人規模3,650億円(構成比24.3%)、30～49人規模2,180億円(同14.5%)と続いている。

小売業では、10～19人が2,024億円と最も多く、小売業の22.2%を占めている。次いで、5～9人規模1,491億円(構成比16.3%)、100人以上規模1,374億円(同15.0%)と続いている。

第3-2表 従業者規模別年間商品販売額 (単位:万円)

区 分 , 従 業 者 規 模 別	合 計		卸 売 業		小 売 業	
	年間商品販売額	構成比	年間商品販売額	構成比	年間商品販売額	構成比
合 計	241,295,627	100.0%	149,988,562	100.0%	91,307,065	100.0%
2人以下	11,586,656	4.8%	7,622,044	5.1%	3,964,612	4.3%
3～4人	21,869,747	9.1%	14,638,263	9.8%	7,231,484	7.9%
5～9	51,414,254	21.3%	36,503,309	24.3%	14,910,945	16.3%
10～19	62,602,981	25.9%	42,355,713	28.2%	20,247,268	22.2%
20～29	26,877,460	11.1%	16,904,438	11.3%	9,973,022	10.9%
30～49	32,248,659	13.4%	21,804,293	14.5%	10,444,366	11.4%
50～99	16,442,781	6.8%	5,648,151	3.8%	10,794,630	11.8%
100人以上	18,253,089	7.6%	4,512,351	3.0%	13,740,738	15.0%

4 売場面積

平成26年7月1日現在の小売業の売場面積(牛乳小売業(宅配専門)、自動車(新車・中古)小売業、建具小売業、畳小売業、ガソリンスタンド、新聞小売業(宅配専門)の事業所を除く)は113万641㎡であった。

これを産業中分類別にみると、「その他の小売業」が38万3,447㎡と最も広く、全体の33.9%を占めている。次いで、「飲食物品小売業」28万6,210㎡(構成比25.3%)、「各種商品小売業」19万8,511㎡(同17.6%)と続いている。

1事業所当たりの売場面積をみると、「各種商品小売業」が7,940㎡と最も広く、次いで、「繊維・衣服・身の回り品小売業」166㎡と続いている。

第4-1表 産業分類別売場面積 (単位:㎡)

産業分類	売場面積	構成比
小 売 業	1,130,641	100.0%
56 各 種 商 品 小 売 業	198,511	17.6%
57 織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	147,377	13.0%
58 飲 食 料 品 小 売 業	286,210	25.3%
59 機 械 器 具 小 売 業	115,096	10.2%
60 そ の 他 の 小 売 業	383,447	33.9%
61 無 店 舗 小 売 業	—	0.0%

5 販売効率

(1) 1事業所当たり年間商品販売額

1事業所当たり年間商品販売額をみると、卸売業は7億2,040万円、小売業は1億4,017万円であった。

これを産業中分類別にみると、卸売業では「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が10億708万円と最も多く、次いで、「飲食料品卸売業」8億3,813万円となっている。

小売業では「各種商品小売業」が46億67万円と最も多く、次いで、「機械器具小売業」が2億4,020万円となっている。

(2) 売場面積1㎡当たり年間商品販売額

売場面積1㎡当たりの年間商品販売額をみると、小売業（牛乳小売業（宅配専門）、自動車（新車・中古）小売業、建具小売業、畳小売業、ガソリンスタンド、新聞小売業（宅配専門）の事業所を除く）全体では、80万円であった。

これを産業中分類別にみると「機械器具小売業」の148万円が最も多く、次いで、「飲食料品小売業」が84万円と続いている。

(3) 従業者1人当たり年間商品販売額

従業者1人当たり年間商品販売額をみると、卸売業は8,747万円、小売業は1,978万円となっている。

これを産業中分類別にみると、卸売業では「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が1億3,085万円と最も多く、次いで、「各種商品卸売業」8,871万円、「飲食料品卸売業」8,163万円と続いている。

小売業では、「各種商品小売業」が3,244万円が最も多く、次いで、「機械器具小売業」3,130万円、「無店舗小売業」2,165万円と続いている。

第5-1表 販売効率(単位当たり年間商品販売額) (単位:万円)

産業分類	1事業所当たり	従業者1人当たり	売場面積1㎡当たり
合計	28,070.6	3,811.7	80.8
卸売業	72,040.6	8,747.7	-
50 各種商品卸売業	61,361.1	8,871.5	-
51 繊維・衣服等卸売業	34,644.4	3,673.3	-
52 飲食料品卸売業	83,813.1	8,163.6	-
53 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	100,708.3	13,085.3	-
54 機械器具卸売業	49,733.2	7,126.4	-
55 その他卸売業	60,882.1	6,961.4	-
小売業	14,017.0	1,978.1	80.8
56 各種商品小売業	460,067.8	3,244.5	57.9
57 織物・衣服・身の回り品小売業	7,254.2	1,686.5	43.5
58 飲食料品小売業	10,577.8	1,414.9	84.7
59 機械器具小売業	24,020.0	3,130.0	148.0
60 その他の小売業	11,723.7	1,949.5	71.4
61 無店舗小売業	17,642.8	2,165.0	-

6 行政区別の状況

(1) 卸売業

卸売業の状況を各区別にみると、事業所数では小倉北区が780事業所と最も多く、全体の37.5%を占めている。次いで、八幡西区の379事業所(構成比18.2%)となっており、この2区で全体の55.7%を占めている。

次に従業者数をみると、小倉北区が7,292人で最も多く、全体の42.5%と4割を占めている。次いで、小倉南区2,727人(構成比15.9%)、八幡西区2,671人(同15.6%)と続いている。

第6-1表 区別の事業所数及び従業者数

区別	事業所数		従業者数	
	実数	構成比	実数	構成比
合計 北九州市	8,596	100.0%	63,304	100.0%
門司区	893	10.4%	5,297	8.4%
若松区	697	8.1%	4,787	7.6%
戸畑区	579	6.7%	3,583	5.7%
小倉北区	2,457	28.6%	20,294	32.1%
小倉南区	1,375	16.0%	10,863	17.2%
八幡東区	709	8.2%	4,599	7.3%
八幡西区	1,886	21.9%	13,881	21.9%
卸売業 北九州市	2,082	100.0%	17,146	100.0%
門司区	167	8.0%	1,198	7.0%
若松区	140	6.7%	1,201	7.0%
戸畑区	133	6.4%	945	5.5%
小倉北区	780	37.5%	7,292	42.5%
小倉南区	347	16.7%	2,727	15.9%
八幡東区	136	6.5%	1,112	6.5%
八幡西区	379	18.2%	2,671	15.6%
小売業 北九州市	6,514	100.0%	46,158	100.0%
門司区	726	11.1%	4,099	8.9%
若松区	557	8.6%	3,586	7.8%
戸畑区	446	6.8%	2,638	5.7%
小倉北区	1,677	25.7%	13,002	28.2%
小倉南区	1,028	15.8%	8,136	17.6%
八幡東区	573	8.8%	3,487	7.6%
八幡西区	1,507	23.1%	11,210	24.3%

年間商品販売額をみると、小倉北区が6,823億円と最も多く、全体の45.5%と半数近くを占めている。次いで、小倉南区2,078億円(構成比13.9%)、八幡西区1,680億円(同11.2%)と続いている。

第6-2表 区別の年間商品販売額及び売場面積 (単位：金額万円、面積㎡)

区別	年間商品販売額		売場面積	
	実数	構成比	実数	構成比
合計 北九州市	241,295,627	100.0%	1,130,641	100.0%
門司区	20,484,821	8.5%	74,335	6.6%
若松区	18,546,579	7.7%	87,301	7.7%
戸畑区	13,588,763	5.6%	55,947	4.9%
小倉北区	99,307,949	41.2%	331,129	29.3%
小倉南区	37,635,592	15.6%	230,334	20.4%
八幡東区	14,242,295	5.9%	92,555	8.2%
八幡西区	37,489,628	15.5%	259,040	22.9%
卸売業 北九州市	149,988,562	100.0%	—	—
門司区	13,822,951	9.2%	—	—
若松区	12,150,530	8.1%	—	—
戸畑区	9,686,903	6.5%	—	—
小倉北区	68,239,533	45.5%	—	—
小倉南区	20,780,935	13.9%	—	—
八幡東区	8,499,576	5.7%	—	—
八幡西区	16,808,134	11.2%	—	—
小売業 北九州市	91,307,065	100.0%	1,130,641	100.0%
門司区	6,661,870	7.3%	74,335	6.6%
若松区	6,396,049	7.0%	87,301	7.7%
戸畑区	3,901,860	4.3%	55,947	4.9%
小倉北区	31,068,416	34.0%	331,129	29.3%
小倉南区	16,854,657	18.5%	230,334	20.4%
八幡東区	5,742,719	6.3%	92,555	8.2%
八幡西区	20,681,494	22.7%	259,040	22.9%

(2) 小売業

小売業の状況を各区別にみると、事業所数は小倉北区が1,677事業所と最も多く、全体の25.7%を占めている。次いで、八幡西区1,507事業所(構成比23.1%)、小倉南区1,028事業所(同15.8%)と続いている。

次に従業者数をみると、小倉北区が13,002人と最も多く、全体の28.2%を占めている。次いで、八幡西区11,210人(構成比24.3%)と続いており、この2区で全体の半数を占めている。

年間商品販売額をみると、小倉北区が3,106億円と最も多く全体の34.0%を占めている。次いで、八幡西区2,068億円(構成比22.7%)、小倉南区1,685億円(同18.5%)と続いており、この3区で全体の75.1%を占めている。

売場面積をみると、小倉北区が33万1,129㎡と最も多く、全体の29.3%を占めている。次いで、八幡西区25万9,040㎡(構成比22.9%)、小倉南区23万334㎡(同20.4%)と続いている。